
Memorial address

広瀬亜紀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Memorial address

【コード】

N0242A

【作者名】

広瀬亜紀

【あらすじ】

。 蘭は悲しい夢を見る。その不安は現実のものとなってしまう・・・

その日、蘭は胸騒ぎとともに眠りについた。

とても悲しい夢を見ながら。

これからどんなことが起きようとも知らずに……。

〈朝〉

RRRRR・・・RRRRR・・・

電話が鳴っている。

蘭は目を覚ました。蘭の頬にはなぜか涙がたっていた。

涙を拭いながら蘭は受話器をとった。

「もしもし」

電話の声は阿笠博士だった。

「おお！蘭君か！？大変なんじゃ！新一君が・・・事故にあって意識不明じゃ！」

「え・・・？」

蘭は呆然と立ちつくした。

信じられなかった。

「うそ……どうしよう……」

消えるような声で蘭が言った。

「落ち着くんじゃ！とにかく病院にきてくれ！場所は……」
もう博士が何を言っているのかさえわからなかった。

『新一が……新一が……』

蘭は部屋を飛び出した。

「おい！蘭君！？蘭君！？聞いたるのかね！？蘭君！？」

受話器の向こうではまだ博士の声が鳴り響いていた。

蘭は走りながらこんなことを口走っていた。

「夢が……夢が現実に……？」

そんなことを口走りながらも蘭は病院に着いた。

バン！！！！

蘭はいきおいよく病室のドアを開けた。

「新一！！！！！！」

新一は目を閉じている。動かない。

「し……新一？ねえ……私よ？蘭よ？ねえ……目を開けて……」

それでも新一は動かない。

「ら……蘭君……もう……遅すぎたよっじゃ……」

阿笠博士は悲しそうにそう言った。

『新一は逝ってしまったんだ』そう感じた瞬間だった。

蘭は瞬きもせず、じっと新一の顔を見て、こう言った。

「新一……なんで……なんでおいていっちゃうの？……ずっと……ずっと……好きだったんだからあ……」

蘭は泣き崩れた。

蘭の涙が新一の頬をつたって、まるで新一も泣いているように見えた。

そして蘭の告白も聞かずに新一は逝ってしまった。

それからどれくらいの日が流れただろうか……。

蘭は大人になっていた。

「蘭アーン！！彼氏できた？っていうより結婚した！？」

園子の質問に蘭はキツパリこう言った。

「彼氏なんていないし、結婚もしてないわよ！っていうかしない！！」

そう、まだ蘭は独身なのだ。

「もー・・・やっぱり蘭は新一君なのね・・・」

蘭はうつむいてしまった。

「あつゴメン！！蘭！！蘭！！蘭！！」

「なんてね！あんな推理オタクどうだっていいのよ！別に関係ないし！！」

蘭は明るく笑ってみせた。

「さあー！幸せ者は行った！行った！園子またね！」

「元気だしなよ！バイバイ！」

園子が部屋を出て行った。

ドアがしまった途端、蘭は涙を流していた。

「新一・・・あいたい・・・」

いつも願うのは、ただ一つ。

あいたい。

ただそれだけなのに・・・。

単純なことが叶わないのはなによりも辛いことだ。

きつと誰だって・・・。

蘭の願いが叶うのはいつだろう。

そして幸せな日々を思い出から瞬間にできるのはいつだろう・・・。

(後書き)

～作者より～

悲しいお話となつてしまいました・・・!!

みなさんはこのお話、どうでしたか!?

私は最後をもう少し前向きに出来たらなあーなんて思ったんですが・
・・。

(実際、かなり暗いよね・・・)(失笑)

とにかく感想などもらえればうれしいです!

あつ!あと!題名の説明なんですが・・・これは浜崎あゆみさんの
曲なんです!

この曲の詞を自分の想像で小説にしてみました!

どうでしょうか!?

けっこうせつない曲なんですよね・・・

もっている方はぜひ聞きながら読んでみて下さい!!

では、いきなりですがさようなら～

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0242a/>

Memorial address

2010年10月8日14時17分発行